

(様式2)

農業の新しい技術

No. 702(平成28年5月)
分類コード 01-14
熊本県農林水産部

黒毛和種種雄牛「百合照茂」^{ゆりてるしげ}の選抜

農業研究センター 畜産研究所生産基礎技術研究室
担当者：安武誠至

研究のねらい

産肉能力直接検定で選抜された種雄牛の遺伝的能力を推定するため、後代牛による産肉能力現場後代検定を実施し、その肥育及び産肉能力により優秀な種雄牛を選抜する。

研究の成果

1. 肉質および枝肉重量、ばらの厚さに優れた黒毛和種種雄牛「百合照茂」を選抜した。

○血統

父 百合茂 (黒原 4086)	祖父 平茂勝(黒原 2441)	— 第20平茂(黒育 134)
	祖母 しらゆり(黒 1968419)	— 神高福(黒高 929)
母 ふくえ (黒原 1302360)	祖父 安平照(黒原 3412)	— 安平(黒原 2208)
	祖母 かつこ(黒高 211154)	— 平茂勝(黒原 2441)

○登録番号：黒原5575

○生年月日：平成22年5月26日

○生産地：上天草市大矢野町(小幡 美富)

2. 現場後代検定成績および育種価

○脂肪交雑等級は去勢5.78、雌6.73、全体で6.30であり、歴代検定成績でトップの成績であった。また、育種価でも2.06(評価種雄牛2,352頭中31位)と極めて高く、優れた能力を有すると推定される。

○ロース芯の面積は去勢 57.6 cm^2 、雌 55.5 cm^2 と優れており、育種価でも13.2(評価種雄牛2,352頭中179位)と極めて高く、優れた能力を有すると推定される。

○SBVは枝肉重量0.05、脂肪交雑1.77、ロース芯面積0.77、ばらの厚さ0.53、皮下脂肪の厚さ-0.22と特に脂肪交雑の改良効果が大きいと推定される。

※SBV(標準化育種価)は、育種価評価値をわかりやすくするために、標準化したもの。値が1以上の場合、改良効果が高いことを示す。

3. 特徴

脂肪交雑等級やロース芯面積などが優れていることから肉質改善に有効であり、「百合茂」産子として期待される種雄牛である。

[具体的データ]

熊本県農林水産部



百合照茂 (ゆりてるしげ)



格付け:A-5 枝重:475.8kg
BMS:9 ロース:52cm²
ばら:8.1cm 母の父:神高福

表1 現場後代検定成績

区分	頭数	枝肉重量 (冷と体) (kg)	脂肪交雑 (BMS No.)	ロース 芯面積 (cm ²)	ばらの 厚さ (cm)	皮下脂肪 の厚さ (cm)	日齢枝肉 重量 (g)
去勢	9	465.6	5.78	57.6	7.5	2.1	542.7
雌	11	421.9	6.73	55.5	7.6	2.9	490.2
全体	20	441.6	6.30	56.5	7.6	2.5	513.8

表2 育種価(BV) (H28.2 評価)

	順位	育種価	(正確度)
枝肉重量	351	48.52	(0.91)
脂肪交雑	31	2.06	(0.92)
ロース芯面積	179	13.22	(0.90)
ばらの厚さ	185	0.96	(0.88)
皮下脂肪の厚さ	849	-0.42	(0.91)

※ 後代頭数 20 頭(フィールド成績を含む)

※ 順位は評価種雄牛 2,352 頭中の順位

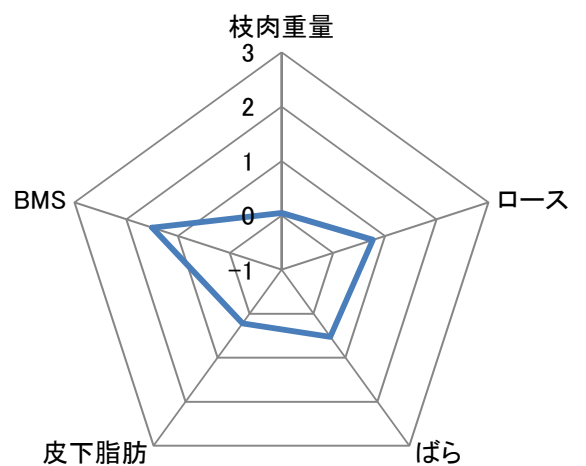


図1 SBV(標準化育種価)

※ 形質ごとに比較でき、わかりやすくするために標準化したもの
※ 皮下脂肪は逆符号